

# みやぎ技能KENTEI NEWS

第9号  
令和7年2月

宮城県は、技能向上に挑戦する会社と若者を応援します。

「みやぎ技能KENTEI NEWS」は、技能検定の周知や、技能検定を通じた技能の向上を図るため、宮城県が年1回発行しているパンフレットです。

## 第9号ではこちらの技能士のみなさんをご紹介します！



株式会社五洋電子仙台工場 細川 吏輝（ほそかわ りき）さん  
1級電子機器組立て技能士（電子機器組立て作業） 令和3年度合格



有限会社只見工業所 只見 優（ただみ ゆう）さん  
1級畳製作技能士（畳製作作業） 令和5年度合格



仙台市立仙台工業高等学校建築科 伊藤 萌々楓（いとう ももか）さん  
2級建築大工技能士（建築工事作業） 令和5年度合格

\*過去の「みやぎ技能KENTEI NEWS」はこちら→



### 技能検定受検手数料の 減免対象者が変更されました

これまで、2・3級の実技試験を受検する25歳未満の方を対象としていた技能検定受検手数料の減免措置が、令和6年度前期技能検定から、3級の実技試験を受検する23歳未満の方に変更されました。

厚生労働省



## 技のとびら

技能検定制度等に係るポータルサイト

技能検定ってなに？技能士ってどういう人たち？  
どんな職種があるの？

「技のとびら」には技能検定制度や技能士紹介、試験日程など、様々な情報が掲載されています。  
ぜひ一度、のぞいてみてください！



《発行》 宮城県 経済商工観光部 産業人材対策課 ☎ 022-211-2763

メール: sanzinj2@pref.miyagi.lg.jp HP: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/index.html>

# 株式会社五洋電子仙台工場 ほそかわ りき 細川 吏輝さん (34歳)

## 1級電子機器組立て技能士 (電子機器組立て作業) 令和3年度合格



現在は監督者の立場として、部下の指導も行いながら製品の組立てや調整試験作業を行っています。

### 受検するきっかけ

1級技能検定は、工場長の勧めで受検しました。私は高校の専門科目が電気電子系ではなく機械系だったので、まずは実務経験を積んで2級を受検しましたが、職場の先輩方が1級を取得していたこともあり、工場長に「受検してみてもどうか」と声をかけてもらったときはやる気になりました。

### 合格に向けて取り組んだこと

電子機器組立て職種は実技試験の課題で使用する部品などの基準が細かく設定されており、減点されるポイントも多く、しっかり理解した上で作業していかないと時間内に終わることが難しくなってしまうので、課題を熟読して、内容を頭に叩き込みました。課題の一部は当日にならないとわからない部分があるので、どんな課題にも対応できるように、複数のパターンを覚える必要がありました。

実技試験の練習は、2か月前から会社から機材を提供いただき、先輩方から減点のポイントとなる箇所などを指導していただきながら行いました。2級受検のときは、技能検定の受検自体が初めてだったこともあり練習に時間がかかりましたが、1級は課題の難しさという点で練習に時間がかかりました。

### 技能検定受検を通して得たこと

1級技能士として恥ずかしくない行動を意識するようになりました。1級を取得したあとに、職業訓練指導員の資格を勧められて取得しましたが、

指導される側の心理や関連する法律などを学び、指導するに当たっていろいろと工夫するようになったと思います。

### 今後の目標

若手社員の育成や技能のレベルアップのためのサポートに注力していきたいという気持ちがあります。これから技能検定を受検する若手社員には、実技試験の課題に対して忠実に、そして見栄えよくきれいに仕上げるところをポイントとして指導しています。



### 事業者の声：工場長 高橋正幸さん

技能検定の受検手数料は会社が負担し、実技試験に向けた機材の提供や、学科試験に向けて社内で模擬試験を実施するなど、会社として技能検定の受検者をサポートしています。

技能士資格所有者がものづくりを行っていることは、品質面で社外に対して強みになりますし、また、安心して仕事を任せることができます。技能士の資格を取得することは、本人の技能がスキルアップしたという自信に繋がりますので、今後も技能検定の受検を推奨していきたいと思えます。

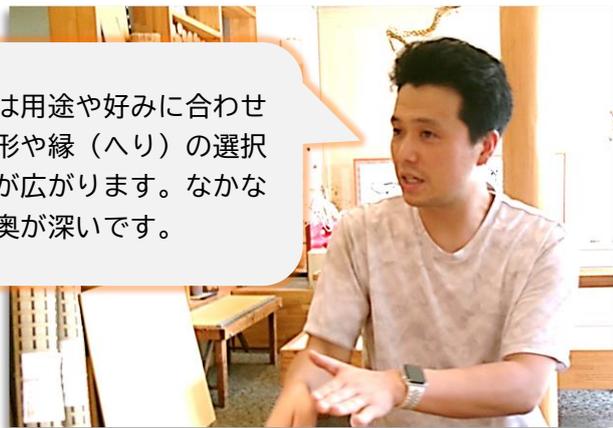
### 会社紹介

社名：株式会社五洋電子仙台工場  
所在地：柴田郡柴田町中名生字神明堂1-1  
電話：050-3383-0190





畳は用途や好みに合わせて形や縁(ハリ)の選択肢が広がります。なかなか奥が深いです。



### 受検するきっかけ

私はもともと仙台市内で水道工事関係の仕事をしていました。畳の仕事をするきっかけとなったのはそのときの職場の方が言った「畳屋ってカッコいいよね」という一言だったと思います。当時、現場で「新しいことを覚えるなら30歳まで」とよく言われていたこともあり、27歳のときに地元に戻り、実家である畳屋で畳製作の仕事を始めました。

技能検定を受検するきっかけとなったのは、職業訓練校の畳科で学んでいたときに会った方々です。訓練校に通っていた当初は、畳の縫い方など基本的なこともわからず、渋々通っていたところがありました。訓練校では卒業するまでに2級を取得することが目標になっていましたが、3年生のときに2級に合格して、先生から1級も挑戦してみたらと勧められました。その時点ですでに心境の変化が起きていて、1級取得は意識していました。

### 合格に向けて取り組んだこと

実際の畳製作の現場では、機械と手作業で畳を製作していきますが、技能検定では5時間の試験時間で終始手作業により畳を製作します。6月以降に実施される実技試験に向けて、3月まではマイスター制度を活用して全6回、実技試験の練習をしていました。4月以降は、就業時間の最後の約30分間で、裁断や手縫いなど、試験に関連する作業を行うことを課題として取り組み、手に慣れさせるようにしました。

畳製作の実技試験には計算の工程があるのですが、これが一番苦労しました。通常の現場では使

うことがないので、畳を枠に収めるために数字の意味を理解し、完成後の畳の形を把握しなければなりません。材料に限りがあるため、課題で決められた寸法に畳を作る練習は一度しかできませんでしたが、一度作ったものをバラして一回り小さく作り直し、作る工程の練習を何度も繰り返しました。

### 技能検定受検を通して得たこと

仕事への向き合い方が変わったと思います。手縫いよりもホチキスを使ったほうがもちろん時間的には早いのですが、畳を製作する過程で迷うことがあったら、時間がかかっても伝統的な手法を選択するようにしています。機械ではできない、技能検定を通して習得した手縫いの技術でしかできないやり方がありますし、やはり精度が違います。手を掛けただけ質の良いものが出来上がりますから、自己満足かもしれませんが、こだわりは大切です。

### 今後の目標

今年度の東北畳工技能競技大会に実行委員として携わりましたが、参加した選手を見て、「いいな。カッコいいな。」と思いました。今後、競技大会に挑戦する機会があればいいなと思います。

畳業界は20代の職人が少ないので、若手の育成というところはまだ考えていませんが、もしも誰かに教えてと頼まれたら、正しい技能を教えられる職人でありたいと思います。



### 会社紹介

社名：有限会社只見工業所  
設立：昭和51年  
所在地：栗原市若柳字川北片町54  
電話：0228-32-3356

↓HP



# 仙台市立仙台工業高等学校 建築科 いとう ももか 伊藤 萌々楓さん (18歳) 2級建築大工技能士 (建築工事作業) 令和5年度合格



## 受検するきっかけ

部活動で建築倶楽部の木材加工班に所属しており、高校生ものづくりコンテストで上位入賞を目指し毎日練習に励んでいた中で、部活動で得た知識や技術を活かして将来につながる資格を取得したいと思いチャレンジしました。

## 合格に向けて取り組んだこと

令和4年度の技能検定で建築大工3級に合格しましたが、2級は難易度が高く自信が持てず、合格するために3つの事を中心に練習することにしました。まず1つ目は、3級にはなかった現寸図の作成です。現寸図を短時間で描けるようになるために、毎朝早く登校して現寸図の練習をしたり、少しのズレもないよう何度も確認を行いました。2つ目は鉋掛けです。元々鉋掛けが苦手でしたが、木材加工技術を指導いただいていた大工さんに教えていただき克服することができました。3つ目が墨付けです。墨付けは少しのズレが加工に響くので、慎重に時間をかけて練習しました。これら3つを克服し、さらに現寸図から墨を取る際にどこから取るとよいかを理解し、綺麗に墨を引き見栄えよくすることを心掛けて練習しました。

## 技能検定受検を通して得たこと

加工の仕方や順番など、その場に応じて動ける「対応力」と、実技試験を時間内に終わらせるという意識から学んだ「効率化」です。

建築大工の実技試験の課題は、加工の仕方と手順を一つ変えただけでも、出来栄が大きく変わります。3時間半の中で課題を完成させなければいけないため、「効率化」を重視して無駄な動きがないように繰り返し練習を重ねていくうちに「対応力」も身に付き、その時の状況に応じて綺麗に加工ができるようになりました。そして、試験本番では集中して課題に取り組み、「効率化」を重視して作業をした結果、最初は課題の完成に5時間半もかかっていましたが、最終的には規定の時間内である3時間半に縮めることができました。

## 今後の目標

将来は、建築士かインテリアプランナーを目指しています。2級技能士を取得したことで視野も広がり、色々な角度から意見を出せる建築士やインテリアプランナーになれるのではないかと考えています。

高校卒業後は建築・デザイン系の大学に進学し、建築とインテリアデザインについて深く学びたいと考えています。2級技能士を取得した際に得た技術や知識を自分の将来に繋げられるように、「技能士を取得したからもう大丈夫」ではなく、「これから」という考えを持って、建築士やインテリアプランナーの資格を取得できるよう、日々の勉強を頑張っていきたいです。



## 学校の声：建築科 技能検定指導者 [2級] 久保晴義先生 / [3級] 東海隼人先生・鈴木伸洋先生

本校は建築科、機械科、電気科、土木科の4学科ですが、令和7年度より新たに情報科が新設され5学科となります。令和6年に創立128年目を迎え、多くの卒業生は、エンジニアとして仙台をはじめとする国内外で活躍しています。施工管理技術検定や技能検定などの資格試験においても、毎年多数の合格者を輩出しています。

昨年度のものづくりコンテスト宮城県大会(木材加工)においては1位と2位の入賞を果たし東北大会へ出場、各種コンクールにおいても多数入賞など、「ものづくり」を通して、これからもエンジニアとして活躍できる人材を育成していきたいと思っております。

## 学校紹介

学校名：仙台市立仙台工業高等学校

創立：明治29年

所在地：仙台市宮城野区東宮城野3-1

↓HP

